

- 「進路のしおり」発刊
- 校内模試スケジュール
- 期末考査迫る／オープンキャンパス情報
- 1日医師・看護体験／校内連携模擬講義

「結果ではなく過程を」

物理科 竹内 透

みなさんこんにちは。今年度から新規採用で本校に着任しました、竹内透です。昨年度まで、教職大学院というところで学生生活を送っていました。新宿高校で働き始めて3ヶ月近くが経ちましたが、新宿高校の生徒のみなさんはとても真面目で、優秀で、志が高いなと感じています。そんなみなさんだからこそ、忙しい高校生活の中で、精神的に疲弊している人もいないのでしょうか。過度に周り自分と比較し、自分なんかだめだと思っはいませんか。もし何かうまくいかないことがあるのだとしたら、それは“今は”できていないだけです。周り自分と比べて一喜一憂せず、自分自身に足りていないものを客観視して、それを克服するための過程をひとつひとつ踏んでいきましょう。それが、あなたが目指すものへの一番の近道だと思います。

私は、大学時代に所属していた剣道部で過程の大切さを学びました。私は部の中では最弱だったので、練習のたびにボコボコにされ、練習後に悔しさのあまり泣いた日もありました。そんな中監督に、「君は“今は”弱いから、負けて当たり前だ。周りとは比べるのではなく、自分に足りないところを考えて、それを克服することだけを考えなさい。」と言われました。それから、毎日練習の動画を見かえしては、課題を洗い出し、それを克服するための努力を積み重ねました。練習試合では、負けてもいいから自分が決めた課題を遂行するようにしました。そのうちに次第に周りとは張り合えるようになり、レギュラーとして大会に出ることもできました。

このような過程の重要性は勉強も、部活動も、学校行事も、その他のあなたが熱中していることも、すべてに共通することだと思います。周り自分と比較して焦って、同じようにやろうとしても、空回りするだけです。自分に足りないところは何なのかを考え、それを克服するための過程を吟味し、その過程を踏むことができるかどうか確認しながら努力しましょう。そして、自分自身の成長に目を向けましょう。

私も現在、日々の授業の中で試行錯誤をしています。周りはベテランの先生ばかりの中、不甲斐ない失敗ばかりの授業をやっています。ああすれば、こうすれば、もっと伝わったかなと反省しながら、次はこうしようと色々考えて授業をしています。私もみなさんも“今は”できないことがたくさんあると思います。過去の自分よりも少しずつ成長していく過程を、私と一緒に楽しみましょう。



○ 「進路のしおり」 発刊

2022年度用の「進路のしおり」が出来上がりました。目次は以下のとおりです。

1. 進路の決め方
2. 大学入試のしくみ
3. 一般入試日程
4. 大学入学共通テスト出題教科・科目の
出題方法等
5. 国公立大共通テスト英語リーディング・
リスニング配点比
6. 英語外部試験について
7. 各資格・検定試験についてと
CEFR との対照表
8. 2022年度 各学年の進路指導計画
9. 文部科学省所管以外の学校教育について
10. 調査書について知ろう
11. 学校推薦型入試
12. 進学統計資料
13. 合格体験記
14. 新宿高校教職員・保護者が薦める新書 100 冊
15. 教育課程編成表

すべての学年にとって知っておくべき内容が凝縮されて載っています。1年間大切にし、折に触れて何度でも見返しましょう。

1年生は「1. 進路の決め方」「2. 大学入試のしくみ」をしっかり読んで、進路の基本を学んでください。また「10. 調査書について知ろう」を読むと、1年次からの成績がいかに大切かがよく分かります。高校受験では、中学3年生の成績が重要でしたが、大学受験では高校1年生からの成績がすべて調査書に反映されます。受験が近づいてから頑張っても取り返せないものがあるということを、肝に銘じて日々学んでいきましょう。

2年生も「2. 大学入試のしくみ」を読み、十分に理解を深めておきましょう。また、「3. 一般入試日程」を見て、来年度に向けて具体的なイメージを持っておきましょう。

3年生は、「しおり」の隅から隅までを熟読して、受験に向けた心構えを作ってください。中で

も「13. 合格体験記」には、新宿高校で学んだ先輩たちの貴重な体験が記されています。誰もが、愛する母校の後輩たちのためにと思って、良いことも悪いことも包み隠さずに披露してくれています。先輩方の思いをしっかりと受けとめ、皆さんの糧としてください。「来年度分は私が書く！」という思いを、学習のモチベーションにするのもありですね。

○ 校内模試スケジュール

新宿高校では、いくつかの外部模擬試験を実力テストなどと位置づけて校内で実施し、全員が受験しています。駿台や河合塾の模試は校外会場でも実施されますが、同じ模試の場合は校外会場では受けないで校内で受験してください。学年ごとの予定は以下の通りです。

1年生

・進研模試7月（ベネッセ）	7/7 木
・GTEC	9/14 水
・進研模試11月（ベネッセ）	11/9 水
・全統高1記述模試（河合塾）	2/1 水
・河合塾学びみらいPASS	3/8・9 水・木

2年生

・進研模試7月（ベネッセ）	7/7 木
・GTEC	9/14 水
・進研模試11月（ベネッセ）	11/9 水
・全統高2記述模試（河合塾）	2/1 水
・河合塾学びみらいPASS	3/8・9 水・木

3年生

・駿台全国マーク模試	7/7・8 木・金
・第2回駿台ベネッセ記述模試	10/4 火
・第3回全統記述模試（河合塾）	10/30 日
・第3回駿台ベネッセマーク模試	11/8・9 火・水
・全統共通テストプレテスト（河合塾）	11/20 日 ※外部会場受験

3年生はこのほかに、各自が必要に応じて模試を選んで受験します。主な試験は学年から連絡済みです。

11月20日（日）の河合塾共通テストプレは外部会場での受験になりますが、申込み手続きは学校で一括して行います。

3年生の模試では、マークと記述を組み合わせでドッキング判定が行われます。

まず、10月4日(火)の第2回駿台ベネッセ記述模試と11月8・9日(火・水)の第3回駿台ベネッセマーク模試とでドッキング判定が出ます。また、10月30日(日)の河合塾の第3回全統記述模試と11月20日(日)の全統共通テストプレでもドッキング判定が出ます。

駿台ベネッセと河合塾のそれぞれでドッキング判定が出るわけですが、これらはさらに共通テスト本番の結果とのドッキング判定も可能です。こうした判定結果を参考にして、最終的な出願校を決めていくことになります。

○ 期末考査迫る 6/30・7/1～6

つい先日に関考査が終わったばかりという印象ですが、3年生は6月30日(木)から、1・2年生は7月1日(金)から期末考査が始まります。

中間考査で悔しい思いをした人は、しっかり計画を立てて復習をしていきましょう。定期考査は試験範囲が限られているので、勉強に応じて必ず結果が出ます。定期考査をペースメーカーにした学習の積み重ねが、皆さんの実力になっていきます。

前回の中間考査と今度の期末考査の結果が1学期の評定に反映されます。特に3年生は、3年次の評定として直近の成績が調査書に使われるので、そういう意味でも重要な考査です。しっかり取り組みましょう。戸山戦を終えて部活引退となった人も多いと思います。ここからがいよいよ勝負本番。去年の先輩たちも、ここから頑張って大幅に力を伸ばしていきました。

また、考査の翌日の7月7日(木)は、各学年とも実力テストがあります。こちらもしっかり頑張りましょう。

○ オープンキャンパス情報

ここ数年、大学の入試科目や配点に変更が多く見られます。昨年と今年の受験科目が同じとは限

りません。そのためにも、**オープンキャンパス**に参加して情報を集めましょう。オンライン開催の大学もあります。大学は工夫を凝らして情報発信しています。早いところではすでに実施していますが、多くの大学は夏休みが中心です。大学によっては**事前予約が必要なところ**もあります。既に申し込みが始まっている大学もありますので、参加希望者はHPで確認して申し込みをしてください。例年、すぐに定員が埋まってしまう大学もあるようです。

首都圏の主な大学のオープンキャンパス情報は教室に掲示してあります。参考にしてください。

○ 1日医師体験・看護体験

医療・看護系への進学を考えている人は、夏休みを利用して「1日医師体験」「1日看護体験」などに参加してみるといいでしょう。医療分野の大学入試ではほとんどのところで面接試験があり、体験への参加の有無を聞かれることもあります。進路室前の廊下に「医師体験」「看護体験」の案内ポスターが貼ってありますので、手順に従って申し込みをしてください。わからないことがあれば進路室に問い合わせてください。

○ 高大連携模擬講義

7月6日(水)、期末考査最終日の午後に東京大学の先生による模擬講義があります。詳細は以下の通りです。

日時 7月6日(水) 13:15～14:45
場所 体育館
講師 野地 博行 先生
(東京大学大学院・工学研究科
応用化学専攻 教授)
内容 「回転分子モーター ATP 合成酵素」

2年生が対象ですが、興味のある3年生・1年生は教室に掲示される案内を確認してください。事前申し込みにより、40名程度の希望者の受講が可能です。

親子就活のススメ

株式会社キャリア・ブレーン 取締役 採用コンサルタント
42回生 白根 敦子

どうか、原稿が掲載になる頃には、ウクライナ侵攻が停戦になっていますように。ウクライナ侵攻のニュースを見ると、祖父のことを思い出します。祖父は、第二次世界大戦に出征する時に「この戦争は負けるから、焼いた塩を壺に入れて、庭に埋めなさい」と祖母に言ったそうです。祖母は「そんなことはない」と笑い飛ばしました。祖父は、ある新聞社の記者として、政府のちょうちん記事を書いていたので、世界での日本の立ち位置を知っていて、先を見通せたのでしょう。その後、残念ながら、祖父は、ミャンマーで戦死しました。

何事も大局からの視点が肝心です。これを読んでいる皆さんと親御さんの関心ごとである、これから来る人生のイベント、就活についての真実と、どのように準備したらいいかのヒントをお伝えします。以前に『新卒がすぐに辞めない採用方法』を出版していただきました。そのなかから、学生側にとって有益な情報を一部ご紹介します。

現在、家庭でのしつけが学校へ、学校からさらに職場へと投げられている風潮があります。企業の新卒採用の現場では、見た目、体は一人前でも、中身が子供のままだという方が見受けられます。これは、同調圧力やネット社会で、自分と同じ価値観の人たちと過ごしてきたことが一因です。社会に出ると、様々な価値観や身分ともいえる、正社員と非正規社員などの違いによる人間関係の難しさを舵取りしていかなくてはなりません。それに今は、グローバル社会で、世界情勢の変化も早く、競合は、国内だけでなく海外勢もあります。会社は、競争が厳しく、育てる余裕がないので、新卒は、即戦力として期待されています。ですから、就活は、今までの世界とは全く違うので、それに気づき小さな大人になった人が内定を勝ち取っていく、一連の通過儀礼といえます。

これもお伝えしておきたいことです。『内定率のウソ』。今年の内定率は、90%超と報道されていますが、実は、この数字は、内定をもらった者／就職活動している者の割合です。就活を諦めてしまった人は、分母に入っていないのです。文部科学省の「学校基本調査」が発表する就職率が、実態を表しています。令和3年度の発表では、就職した人／卒業生数は、74.1%でした。残り26.9%のうち、進学留学を除いた9.6%は、進路が決まっていない、あるいは、学校に来ていない方たちとなっています。ですから、この約10%の人は、大学を卒業しても進路が決まっていないというのが、事実なのです。就活に失敗すると、引きこもりになりがちで、最悪の場合、自殺に追い込まれてしまう方もいます。よく報道される内定率に惑わされることなく、しっかり準備して就活に臨んでください。

もしかすると、親御さんは、「そんな割合なら、うちの子は快活だから、就活はうまくいくだろう」と安心されてしまうかもしれません。確かに就職できるかもしれませんが、でも、次は、早期離職が問題なのです。新卒の場合、就職後3年以内の退職を早期退職といいます。早期退職率は、例年30%前後を推移しています。早期退職すると、転職クセがつき、非正規社員化しやすくなります。正社員の生涯賃金2億円に対して、非正規社員は、1億円。非正規社員は、非婚化につながります。いま、漠然と、お子さんが無事に就職して、結婚、孫の顔を見せてくれると思っていたら大間違いです。

では、就活にあたって、どうしたらいいか。親御さんたちには、就活に失敗したら、50代のパラサイトシングルを養うかもしれない家計のリスクを鑑みて、就活を見据えるべきです。もちろん、お子さんの意思を尊重しなくてはなりませんが、この世代は、視野が狭いのも事実。就活ランキングは、就活生が名前を知っている消費材を扱っている会社が上位にくるケースが多く、業界は浮き沈みが激しいので、離職率が高い会社も混じっています。まずは、しっかり育ててくれる余裕のある規模がある会社を親子で調べてみてください。それと、お子さんを親御さんの友人知人に会わせて、大人と会話させること。なるべく多様な価値観の方とお話しさせてみると新たな気づきがあるものです。まずは、そのようなことから親子就活をはじめてみてください。

人生100年時代です。子供の就活と親御さんの人生後半の再構築。よい機会と捉え、親子で長い人生の展望を描けるように親子就活に取り組んでみてください。

(同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)